

NEWS RELEASE

LINE WORKS の SSO サポート開始！サイボウズや Slack など続々対応 オンプレミス型ツールでクラウドサービスとの SSO 機能を拡充

ゾーホージャパン株式会社（代表取締役：迫 洋一郎、本社：横浜市）はオンプレミス型の Active Directory アカウント管理セルフサービスソフト「ManageEngine ADSelfService Plus（マネージエンジン エーディーセルフサービスプラス、以下、ADSelfService Plus）」の最新版、「ビルド 5703」を 2019 年 1 月 23 日より提供開始いたしました。

- ・アカウント管理セルフサービスソフト「ADSelfService Plus」Web サイト
https://www.manageengine.jp/products/ADSelfService_Plus/

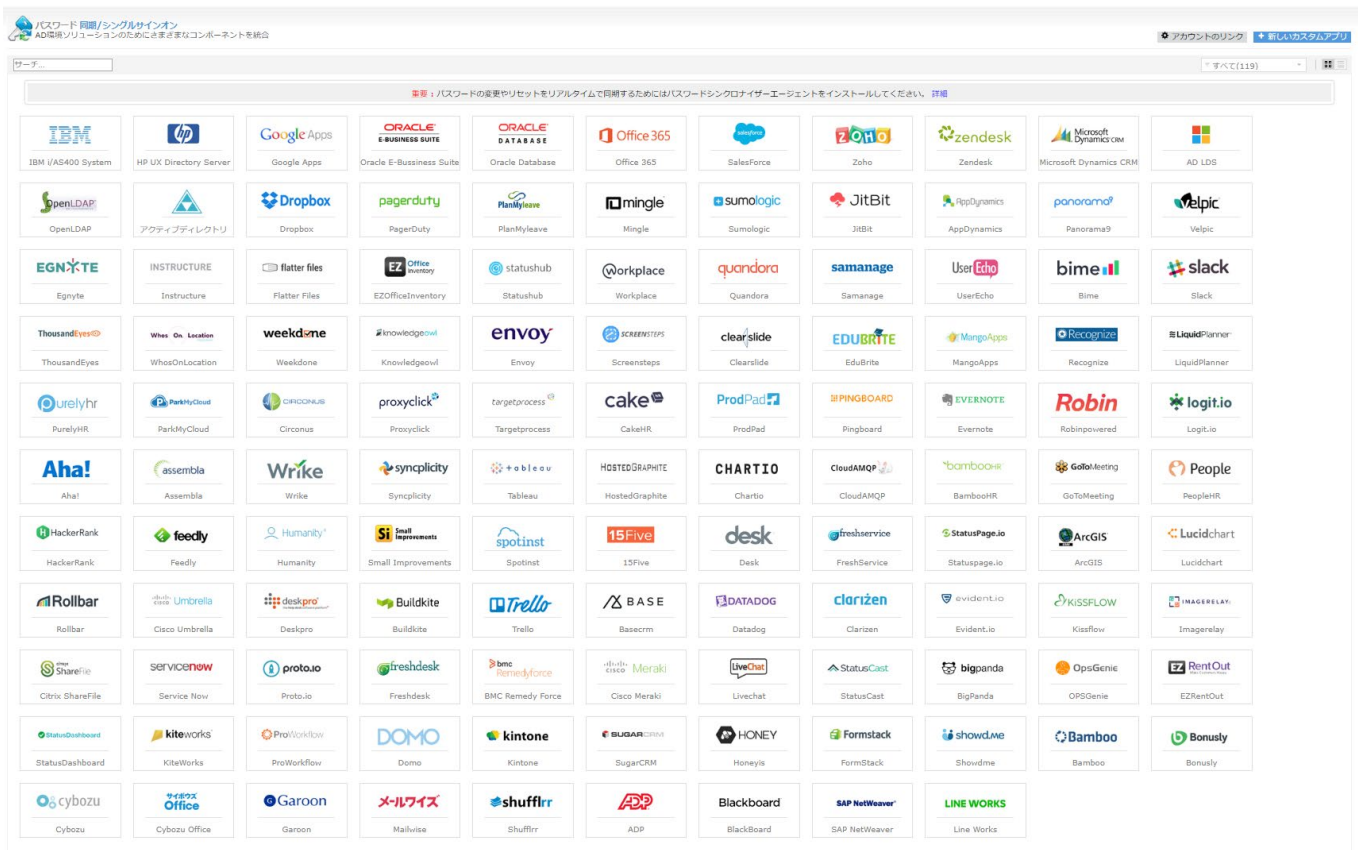
【新機能の概要】

■シングルサインオン（SSO）機能対応アプリケーションに「LINE WORKS」を追加

ADSelfService Plus のシングルサインオン（SSO）機能は、SSO 連携されたクラウドサービス上のアプリケーションならば、ID プロバイダである ADSelfService Plus にログインするだけで、その都度ログイン画面でアカウント情報を入力することなく、スムーズにアプリケーションのログイン後の画面に移行することができます。

今回のリリースでは、SSO に対応するアプリケーションとして、ビジネスチャットツール「LINE WORKS」が追加されました。従来は、新機能であるカスタムアプリ機能(※)から「LINE WORKS」を登録し、SSO 連携のための設定を行う必要がありました。しかし、今回対応アプリケーションとして追加されたことで、アイコンをクリックすると専用の設定画面に遷移し、簡単な設定情報を入力するだけで直ちに SSO 連携を行うことができます。

※カスタムアプリ機能を使用することにより、サービス一覧に記載されていないアプリケーションについても、SAML2.0 に準拠している場合は SSO 連携が可能です。



<ADSelfService Plus : パスワード同期/シングルサインオン設定画面 >

他にもサイボウズ製品や「Slack」など、多くの業務用アプリケーションに対応しています。ADSelfService PlusのSSO機能を活用することで、ユーザーはアプリケーションごとにIDおよびパスワードを管理する煩雑さやセキュリティリスクが軽減され、業務効率化や工数削減への実現に繋がります。

・SSO対応アプリケーション一覧はこちら

https://www.kiteworks.jp/products/ADSelfService_Plus/sso-active-directory.html

■ マルチファクター認証の認証基盤に「LINE WORKS」を追加

ADSelfService Plusのアカウントロック解除/パスワードリセット機能では、悪意のある操作を防止するためのセキュリティ対策として、マルチファクター認証を使用した本人確認に対応しています。その認証基盤の1つであるSAML認証において、設定可能なサービスに「LINE WORKS」が追加されました。

ADSelfService Plusでは、最初に検証済みのActive Directoryドメイン資格情報を使用し、次に2段階目として、SMSや電子メール配信によるコード認証やセキュリティ質問、SAML認証といったサードパーティ認証プロバイダを使用して認証を行います。今回のリリースでは、第2段階における認証基盤として、「LINE WORKS」が追加されました。多くの方が利用する業務用アプリケーションを追加することで、セキュリティ強化とさらなる利便性の向上を実現いたします。

マルチファクター認証
認証に必要な情報の定義とユーザーに許可する認証方法を設定します

詳細設定 ユーザー登録の方法

ポリシーの選択 **adsp.me**

セキュリティ質問&回答	認証コード	Google Authenticator	Duo Security	RSA SecurID
RADIUS 認証	モバイルアプリ認証	SAML認証	ADセキュリティ質問	

SAML認証を有効化

IdPプロバイダーの構成

IdPを選択 **LINE WORKS**

SAML構成モード メタデータファイルをアップロード 手動構成

参照

サービスプロバイダーの詳細

リレー状態 **aHR0cDevL09UU1VLSS1TVVJGQI**

あなたのIdpはリレー状態を必要とするかもしれません

*ACS URL・受信者URL **http://OTSUKI-SURFACE:5703/s/**

あなたのIdpはACS・受信者URLを必要とします。

または

SPメタデータのダウンロード

メモ

- SAML認証の場合、登録は不要です。ユーザーは、IdPで正常に認証することによって、パスワードをリセットしてアカウントをロック解除できます。
- ADSelfService Plusは、IdP内のNameIDを、そのADドメインアカウントのsAMAccountNameおよびドメイン名に対して自動的にマッピングしようとしています。
 - NameIDにはsAMAccountName、およびドメイン名またはドメインフラット名 (<sAMAccountName>@<domain_name> または <domain_flat_name>\<sAMAccountName> 形式) が含まれている必要があります。
 - NameIDに他の値が含まれている場合は、「製品にログインするには他の固有属性を有効にする」を設定し、対応するLDAP属性を追加する必要があります。
- セルフサービスのパスワードリセット（またはアカウントのロック解除）を行っている際にSAML認証オプションを選択すると、認証のためにユーザーはIdPログインURLにリダイレクトされます。
- ユーザーはIdP側から認証を開始することはできません。
- SAML認証は、モバイルアプリからのマルチファクタ認証には使用できません。
- IdPでサポートされていないブラウザでSAML認証が機能しないことがあります。
- シングルログアウトを有効化している場合、ログオンSSOと多段階認証で異なるアイデンティティプロバイダー構成を使用していることを確認してください。

設定保存

<ADSelfService Plus : マルチファクター認証設定画面 >

■ Windows ログオンの2段階認証機能の追加

Windows ログオンの際に、Windows の通常の資格情報による認証に加えて、2段階目の認証として SMS/電子メール配信による認証コードやサードパーティ認証プロバイダによる認証を行えるようになりました。よりセキュアな Windows 端末へのログオン認証は、重要情報への侵入を防ぐ、強靭なセキュリティ対策として組織に貢献します。

■ ADSelfService Plus 最新版「ビルド 5703」のその他の主な新機能は、以下のページで確認できます。

https://www.manageengine.jp/products/ADSelfService_Plus/release-note.html

【ADSelfService Plus の価格および評価版ダウンロード】

「ADSelfService Plus」では、30日間無料で全機能利用でき、技術サポートも受けられる「評価版」を提供しています。評価版は、以下のリンクからダウンロードできます。

- 「ADSelfService Plus」の評価版ダウンロード

https://www.manageengine.jp/products/ADSelfService_Plus/download.html

- 「ADSelfService Plus」の価格情報ページ

https://www.manageengine.jp/products/ADSelfService_Plus/pricing.html

【ADSelfService Plus について】

「ADSelfService Plus」は、Windows Active Directory のアカウントロック解除/パスワードリセットの運用をセルフサービス化する、Web ベースのソフトウェアです。クラウド/オンプレミス双方のアプリケーションのパスワード同期やシングルサインオン (SSO) にも対応し、全世界 18,000 社を超える企業や組織で利用されています。

ManageEngine ADSelfService Plus

【製品情報】

- ・製品情報 https://www.manageengine.jp/products/ADSelfService_Plus/
- ・機能一覧 https://www.manageengine.jp/products/ADSelfService_Plus/features.html
- ・動作環境 https://www.manageengine.jp/products/ADSelfService_Plus/system-requirements.html

【ManageEngine について】

ManageEngine は、ゾーホージャパン株式会社が提供するネットワークや IT サービス、セキュリティ、デスクトップ・ノート PC、ビジネスアプリケーションなどを管理する製品・サービス群です。必要十分な機能に限定、かつ、直感的な操作が可能な画面設計により、短期間での導入が可能であり、その後の運用フェーズにおいても手間がかからず、よりシンプルな IT 運用管理を実現します。

また、中堅・中小企業でも導入しやすいリーズナブルな価格で、これまで大手 IT ベンダーが提供する複雑で高額なツールを利用していた企業や、ツールを自社開発していた組織にも採用されてきました。現在では、日本国内の一般企業、官公庁や自治体などへ、4,000 ライセンスを超える販売実績があり、安心して使える製品・サービスです。

最大で 29 言語に対応する製品・サービスは、北米、欧州をはじめ、南米、中東、アジアなど世界で 12 万社以上の企業や組織が導入し、企業・組織の IT 運用管理のシンプル化、グローバル化に貢献しています。

ManageEngine

【ゾーホージャパン株式会社について】

ゾーホージャパン株式会社は、ワールドワイドで事業を展開する Zoho Corporation Pvt. Ltd. (本社: インド タミル・ナドゥ州チェンナイ CEO: Sridhar Vembu) が開発/製造したネットワーク管理開発ツールや企業向け IT 運用管理ソフトウェア、企業向けクラウドサービスを日本市場に提供すると同時に関連するサポート、コンサルティングなども提供しています。

企業向け IT 運用管理ツール群「ManageEngine」は、世界 12 万社を超える顧客実績を誇り、国内でも販売本数を伸ばしています。「ManageEngine」は、ネットワーク管理の OEM 市場でスタンダードとして認知されてきたネットワーク管理開発ツール「WebNMS」のノウハウや経験を生かして開発されたものです。

また、業務改善/生産性向上を支援する企業向けクラウドサービス群「Zoho」は、世界で 3,000 万人を超えるユーザーに利用されています。国内では「Zoho CRM」を中心にユーザー数を増やしており、35 種類以上の業務アプ

リケーションを1セットで利用できる「Zoho One」の提供も始まっています。



【お問い合わせ先】

■報道関係からのお問い合わせ先: ゴーホージャパン株式会社 マーケティング部

Mail: jp-memarketing@zohocorp.com TEL: 045-319-4613

■お客様からのお問い合わせ先: ゴーホージャパン株式会社 営業部

Mail: jp-mesales@zohocorp.com TEL: 045-319-4612

■ゴーホージャパン URL: <http://www.zoho.co.jp/>

■ManageEngine 事業サイト URL: <https://www.manageengine.jp/>

本資料に掲載されている製品、会社などの固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。®マーク、TM マークは省略しています。